
 <p>人類に 奉仕する ロータリー</p>	<p>2016-2017 国際ロータリーのテーマ 人類に奉仕するロータリー ROTARY SERVING HUMANITY</p> <p>2016-2017 RI会長 ジョン F. ジャーム 米国(テネシー州)</p>	
<p>第1375回 原拓男ガバナー公式訪問例会 平成28年10月25日(火)</p>		

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 我等の生業 平澤理ソングリーダー

- ゲスト・ビジター紹介
- ・ RI第2600地区ガバナー 原拓男 様
 - ・ 上伊那グループガバナー補佐 垣内章雄 様
 - ・ 佐久ロータリークラブ 高橋浩 様
 - ・ 伊那中央RC支援留学生 サンギート・ラトナヤカ 様

■ 会長談話 伊澤和男会長



本日は原ガバナー、垣内ガバナー補佐、佐久RC高橋浩様、ご来場ありがとうございます。また、2年ぶりの軽井沢での地区大会本当にご苦労様でした。10月15日の会長、幹事会では原ガバナーより、地区大会は軽井沢で開催したかったこと、2日目の締めは「ふるさと」の斉唱をガバナー自身のソングリーダーでとの熱い思いが語られ、感動の幕開けでした。

大会登録も地区内55クラブ、1993名。地区外、1クラブ他2089名。会場は軽井沢プリンスホテルウェスト。環境も内容も素晴らしい日々でした。両日共天候にも恵まれ、当クラブの出席者も楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。

RI長代理金杉誠様から財団100周年のお願い、ポリオの現況、もし撲滅できればノーベル賞も夢ではないとのこと。また会員増強の必要性、クラブの自主権が多くなった変改の内容など、挨拶、講話があり、晩餐会では軽井沢RC会長浜野和実氏のお兄様であり、NHK、FMセッション等に出演されている岩崎敏信&ブルー・トロンボーンズの洒落たジャズ演奏、ムーンライトセレナーデ、インザムード等々時間も忘れる程の楽しい一時でした。

翌日の地区大会では阿部長野県知事の祭りで明けた長野県の一年との挨拶等に、午後の講師、森永卓郎氏の講演も「日本の未来を明るくするヒント」と題し、期待以上に内容のある楽しいお話を聞くことができました。想定外のこともいろいろあった大会でしたが、当伊那中央RCが前年中川年度の活躍もあり、名誉あるRI会長賞を伊那西高等学校インターアクトクラブ共々戴くことができました。合わせて会員維持増強賞も受賞することができ、鼻高々の2日間を過ごすことができました。これも会員各位のお蔭様と心より感謝いたします。30周年を迎えるに相応しい記念となりました。

帰路伊那RCのみなさまとも、車中楽しい懇談もでき姨捨山の十五夜の月は少し霞んでいましたが、みな無事海老屋にて反省会をすることができました。

今後これを糧に日々のロータリー活動に励んでゆきたいと思っております。当日出席されたみなさまご苦労様でした。

■ ニコニコボックス

- ◆伊澤和男 原ガバナー、垣内ガバナー補佐、高橋様、サンギート様、ようこそ伊那中央ロータリークラブへお越しいただきました。歓迎致します。
- ◆唐澤稔 原拓男ガバナー、垣内章雄ガバナー補佐、佐久ロータリークラブ高橋浩様、サンギート様、歓迎致します。
- ◆井上修 次週は新入会員 吉原さんの経営するテクノさんへの職場訪問です。専用機を作り上げる技術と合わせて、吉原さんの人となりもご理解頂けると思います。宜しく願い致します。因みに伊那西高校からは40名参加して頂けるそうです。
- ◆兼子展世 先日は拙寺での物故者御法要、大変に大勢御出席参加下されありがとうございました。又、高遠へお越しの節はお立ち寄り下さい。お茶ぐらいは入れますので。
- ◆市川修次 23日諏訪湖マラソン、社員5名完走しました。強風の中、皆良く頑張って走りました。
- ◆ゴルフ表彰者 伊那中央RC10月ゴルフコンペ。優勝 矢島宏、準優勝 熊谷健、3位 池田幸平、ベストグロス 熊谷健でした。来月も頑張ります。

■ 幹事報告 宮澤友浩幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・10月15日（土）暴力追放・地域安全伊那市民大会の報告 平澤理会員



いなっせで9:30より行い、市民約300名が参加しておりました。伊那中央RCからは唐澤敏治会員、唐澤千明会員と3名で参加しました。伊那警察署署長より、山口組・神戸山口組の対立の話や、伊那地区の今年の死亡事故が最悪であるという話を聞きました。その後、11:30より市内を行進し地域の安全を訴え、約1時間程で解散致しました。

・会員増強委員会からのお知らせ 熊谷健会員増強・プログラム委員長



会員増強・プログラム委員会からお願いがあります。本日『新入会員候補者ご紹介のお願い』を配布させていただきました。今年度は7月に4名の新入会員の増強が出来、幸先の良いスタートが切れましたが、伊澤会長から更に増強の依頼を受けました。つきましては、この通知で候補者のご紹介をお願いしたいと思います。どうかよろしく願い致します。

・ロータリー財団委員会、米山記念奨学会委員会からのお知らせ 池田幸平R財団委員長・矢島宏米山委員長



今年度はR財団100周年、伊那中央RC創立30周年等節目の年度です。特別寄付へのご協力をよろしくお願い致します。

■ 出席報告 会員数42名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者27名 事前メイク3名
出席率78.95% 前回出席率 修正なし

■ ガバナー紹介

・上伊那グループガバナー補佐 垣内章雄様より、原拓男ガバナーのご紹介をいただきました。





1. RIテーマ「人類に奉仕するロータリー」
(Rotary Serving Humanity)
2. 2600地区方針及び行動指針
地区標語 「Basic & New! (原点に返り新たな改革を)」
行動指針 「長所を認め合い絆を深めよう」

3. 重点事業 (地区プログラムP9)

I. 会員増強 (目標) 各グループ純増10名、合計90名

この数年2000名の会員確保に苦慮している状況は2600地区の最大の課題点
会員増強をする為には例えば

- ①ロータリーが果たした役割を多くの人に知って貰うこと。
- ②ロータリーとは何か、何に取り組んでいるかをクラブを通じて地域社会に情報を広げる。
- ③クラブの全会員がロータリーへの入会がロータリーの奉仕を通じて地域の為、人類の為により良い世界を築く機会である事を認識し増強を計る。

II. CLPの運用によるクラブの強化

III. 職業奉仕の見える化

会員が小、中、高の学校で自分の職業に関する話をする
(ロータリーを知って貰う⇒将来の会員増強)

4. 継続事業

I. ロータリー財団への寄付 (ポリオの撲滅を含む)

今年度はロータリー財団設立100周年の記念すべき年です。財団100年の歴史は、1917年6月18日アメリカジョージア州アトランタで開催された第8回年次大会でのRI会長アーチ・克蘭フの「世界で良い事をする為に基金を作るのが適切だと思われる」という言葉から始まりました。

その後基金に初の寄付26ドル50セントが寄せられ財団がスタートし、100年間に世界中の何千という地域社会に30億ドルを提供してきました。100周年はロータリアンや世界中の人々にとってR財団の人的活動の大きな歴史を振り返る絶好の機会です。

その歴史の重要な事の一つが2人の日本人ロータリアン山田ツネさんと峰英二さんが提唱したポリオの撲滅です。ポリオは現在アフガニスタンとパキスタンで16例が報告されただけで、本当にあと少しで撲滅できます。

因みに、来年6月10日～14日財団発祥の地アトランタで国際大会が行われますので、当地区からも多く皆様に出席をお願いしたいと思います。ロータリーの友7月号の横読みP44～45に「R財団100周年を祝う」という記事が掲載されていますので一読下さい。

さて、昨年度は財団への寄付は一人150ドル、ポリオ撲滅に500円、平和センターに500円という金額をお願いしていましたが、100年に一度というこの周年を記念して一人150ドルの他ポリオに40ドル、平和センターに10ドル合計200ドルの寄付をお願いします。(実質は4千円ほどの上乘せ) 2016-2017年度ロータリーの目標 (地区プログラムP9参照)

お願いばかりで大変申し上げにくく、又心苦しいのですが、申し上げない訳には行きませんので申し上げます。

1920年10月20日東京RCが設立総会を行い米山梅吉氏が初代会長に就任し、ここから日本のRCの歴史が始まり2020年、東京オリンピックの年に100周年となります。そのため昨年「日本のロータリー100周年委員会」が立ち上げられました。そして今年度が始まる7月1日に東京で第1回ガバナー会議が開催され、議題の一つにこの100周年委員会の予算が上程されました。予算総額は1760万円で内訳は人件費650万円、事務所経費240万円、備品費100万円、三つの委員会費550万円、予備費220万円です。寝耳に水の様なこの件に対し各クラブで既に予算も立てられている事もあり我々がバナーから多くの反対意見が出されましたが最終的には100周年という周年事業をやらない訳にはいかないだろうという結論に至りました。

その結果、今年度は約88000人の会員に一人200円の拠出をお願いするという事になりました。

予算書では納入期限は10月末日となっていました、降って湧いた様なこの件を各クラブにお願いし理解を戴くにはガバナーが公式訪問で直接お願いするしかないという事で納期は来年4月か5月に延期して貰いました。

今更大変心苦しいお願いで恐縮ですが、考えてみれば日本のロータリー100周年を祝う事は我々ロータリアンにとって大きな節目のお祭りのような事であり、公共イメージの向上には絶好の機会ととらえるべきだと思います。会員の皆様には異論もありませんがご協力を是非宜しくお願い致します。

次に、3年に1度開催される規定審議会がシカゴで開催され当地区からは堀川浩PGが代議員として出席されましたがご承知の通り今回は大きな変革がありました。一部の会員の皆様はロータリーに失望したやの発言もあるとお伺いしましたがこの変革を否定的に捉えるのではなくむしろ自分たちのクラブをより良くする為の自主権が多くなったと肯定的に捉えて欲しいと思っています。

例えば例会に柔軟性を持たせる件についてはクラブフォーラム等で全員で議論し、その決定が自分たちのクラブにとってより良いと思われるならばその方向性を決めるのは各クラブ自身です。

但し今期は既に始まっておりますので、この一年しっかり議論して欲しいと思います。地区研修・協議会でも申し上げた個人的な意見ですが、私は「四つのテスト」の内三番目の「好意と友情を深めるか」を一番大事にしています。毎週例会で友と逢い語り知らない知識を得るのはとても楽しみです。

最後に東京RCの今年度のテーマは「Enjoy Rotary」です。
楽しくなければロータリーではありません。皆さんロータリーを楽しみましょう。ご清聴ありがとうございました。

■ 点 鐘

13:30

次回例会
11月1日(火) 11:10
「職場訪問例会」株式会社テクノ様